

各 位

上場会社名	ザインエレクトロニクス株式会社
代表者	代表取締役社長 飯塚哲哉
(コード番号	6769)
問合せ先責任者	取締役経営企画部長 高田康裕
(TEL	03-5217-6660)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年2月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,779	37	43	34	2.81
今回修正予想(B)	3,632	28	265	312	25.77
増減額(B-A)	△147	△8	221	278	
増減率(%)	△3.9	△23.5	508.0	816.8	
(ご参考)前期実績 (平成23年12月期)	3,597	△950	△941	△1,209	△99.49

平成24年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,779	2	9	6	0.56
今回修正予想(B)	3,632	2	230	280	23.12
増減額(B-A)	△147	△0	221	273	
増減率(%)	△3.9	△15.2	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年12月期)	3,597	△979	△967	△1,230	△101.18

(注)当社は、平成25年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。そのため、1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

修正の理由

当社は、2013年を目標年次とする中期経営戦略「TACK2Win.」に基づき、テレビ市場依存構造から、ポートフォリオ型構造に転換することを狙い、事業展開してまいりました。

当期における当社事業の利益牽引役は、テレビ向け事業から転換して、事務機器・アミューズメント市場向け事業に変わりました。画像情報伝送分野でデファクトスタンダード(事実上の世界標準)となったV-by-One(R)HS製品やLEDドライバ新製品などの出荷は当社計画を上回る見込みです。他方、テレビ市場・民生機器市場においては、厳しい事業環境が継続しています。当社は、中国を最終顧客とする製品展開などに注力し、テレビ向け製品出荷は前期を上回る見込みですが、全体としては計画を下回る見込みとなりました。なお、販売管理費については計画に沿った運営となりました。また、当社第7回ストックオプションを全て無償取得して償却したほか、期末に円安が進展しました。以上により、売上高の増加、営業利益の減少、経常利益および当期純利益の増加となる見込みです。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成24年2月7日発表)	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	—	—	600.00	600.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成23年12月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)当社は、平成25年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しておりますが、上記は分割前の期末の株式に対して実施するものです

修正の理由

当社は、経営基盤の一層の強化と今後の積極的な研究開発投資に備えるため内部留保の充実を重視しておりますが、株主の皆様への利益還元につきましても、業績動向を考慮しつつ、適切に実施していく方針です。当期におきましては、本日、別途開示しております「平成24年12月期決算短信[日本基準](連結)」で発表しておりますとおり、黒字転換を果たしました。このため、株主の皆様への日頃のご支援にお応えするため、当期末の1株当たりの配当予想を600円に修正することといたしました。

なお、当社は、平成25年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割するとともに、100株を1単元とする単元株制度を導入しておりますが、当該期末配当金につきましては、分割前の株式に対して実施するものです。

以上